

2. 釧路市動物園の現況

2.1. 釧路市動物園の概要

釧路市動物園は、釧路市の中心部である釧路駅より北西約 18.0km に位置し、昭和 50 年 10 月 1 日に国内最東端の動物園として北海道内 4 番目に開設されました。「タンチョウ保護増殖センター」も含めると 47.8ha という国内最大級の敷地面積を有し、豊かな森林環境、湿地環境の中、北方系動物や熱帯動物の飼育展示が行われるほか、遊園地機能を備えた道東地域のレクリエーション施設として位置づけられています。

また、広い敷地と動物園に蓄積された飼育繁殖技術を生かし、ケガなどで弱った野生動物の治療を行い、野生に戻す事のできない希少動物については非公開ゲージで繁殖させて子ども達を野生に戻す試みに取り組み、道東の野生動物の保護施設としても中心的な役割を果たしています。

動物園周辺には、「大規模自然観光レクリエーション地帯開発構想」に基づき整備された、「山花温泉 リフレ」「ホースパーク」「オートキャンプ場」といった施設が隣接し、レクリエーション施設としてそれぞれが市民に楽しまれています。



中央広場全景（平成 15 年当時）

2.2. 釧路市動物園の広域状況

1) 自然環境

釧路市動物園は、北に阿寒国立公園、東に釧路湿原国立公園が寄り添うように立地する、大自然の中の動物園です。また、阿寒湖から太平洋に注ぎ込む阿寒川の流域の一部に位置し、山と海とをつなげる一連の自然環境の中にあります。

キーワード：

大自然の中の動物園、山と海とをつなげる一連の自然環境の中にある動物園

2) 立地環境

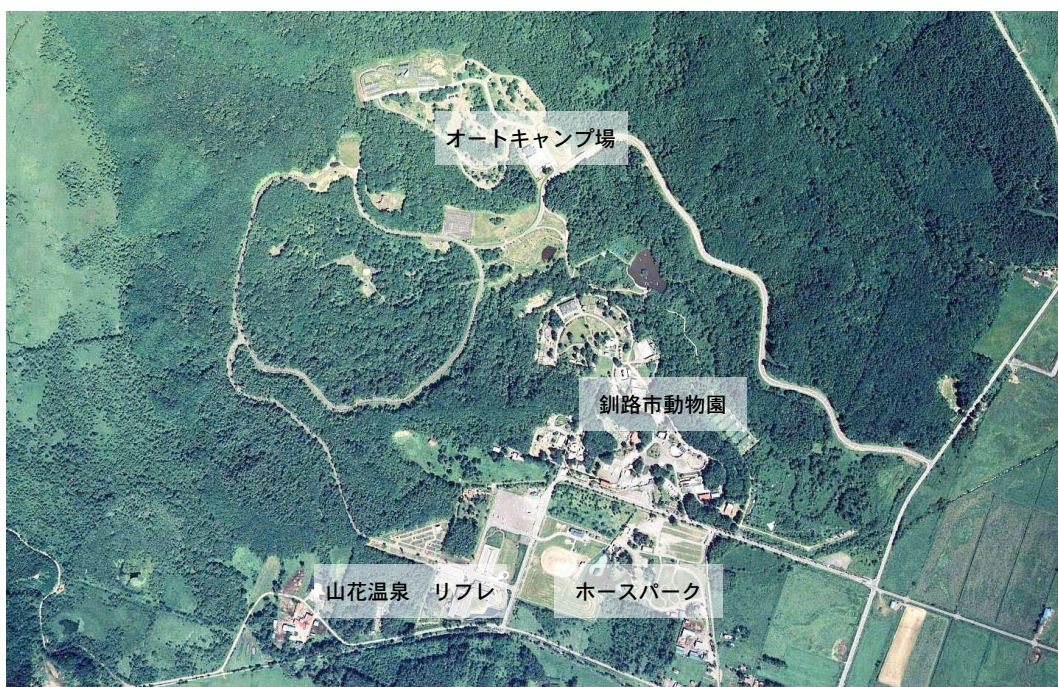
釧路市動物園は、釧路市中心部より 18km 離れた位置にあるが、たんちょう釧路空港から 7km の距離に位置すること、「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」が隣接していることを考えると、ひがし北海道観光の玄関口としての立地環境にあります。



キーワード：釧路市中心部より離れた位置、ひがし北海道観光の玄関口

3) 周辺施設状況

釧路市動物園周辺には「大規模自然観光レクリエーション地帯開発構想」に基づき整備された、「山花温泉 リフレ」「ホースパーク」「オートキャンプ場」といった施設が隣接し、レクリエーション施設としてそれぞれが市民に楽しまれています。近年、それらの施設との連携した利用の促進や取り組み、情報発信などが始まってきたが、レクリエーション施設が隣接する潜在的価値を生かしきれていない現状があります。



周辺施設配置図

キーワード：

レクリエーション施設の隣接、さらなる連携取り組みが必要